

## エリアブランディング構想（御幸の浜海岸・かまぼこ通り周辺）第3回研究会

### 1. 開催日時

令和8年（2026年）2月10日（火）18時00分から19時45分

### 2. 開催場所

小田原宿なりわい交流館

### 3. 出席者等

鈴木大助（小田原市漁業協同組合）※欠席

大浦航平（小田原市漁業協同組合）※欠席

飯田順彦（小田原箱根商工会議所/経営支援一課長）※欠席

野澤尚和（青物町商店会）※欠席

水野健太（宮小路商店会）※欠席

鈴木智博（小田原蒲鉾協同組合）

杉山勇人（小田原蒲鉾協同組合）※欠席

脇谷和孝（小田原かまぼこ通り活性化協議会/会長）※欠席

小西里奈（小田原かまぼこ通り活性化協議会/広報担当）

瀧澤千恵（小田原市観光協会/主事）

橘川健人（小田原ガイド協会/副会長）

川瀬香智子（小田原ガイド協会）

奥津英之（小田原サーフィン協会/常任理事）※欠席

竹田将俊（万年地区住民代表/万年地区青年会連合会長）※欠席

柏木隆良（幸地区住民代表/三の丸小学校 PTA 会長）

里見謙（松原神社明神会会長）※欠席

#### **【事務局】**

杉本将章（企画部/政策調整担当部長）

府川一彦（企画部政策調整課/課長）

長崎真治（企画部政策調整課/未来創造係/係長）

湯澤徹（企画部政策調整課/未来創造係/主査）

田村将洋（企画部政策調整課/未来創造係/主査） ※欠席

五十嵐翔（企画部政策調整課/未来創造係/主事）

#### 【庁内検討会議メンバー】

浅岡龍馬（小田原市商業振興課/主査）

湯川貴裕（小田原市観光課/担当監）

秋山真生（小田原市水産海浜課/主事）

榎本龍朗（小田原市都市政策課/主査）

#### 【業務受託者】

池田晃一（株式会社T I T）

田中大朗（株式会社T I T）

安部遥香（株式会社T I T）

## 4. 資料

- ・ 本日の次第
- ・ 出席者名簿・レイアウト
- ・ 資料1 第3回研究会資料
- ・ 資料2 エリアブランディング構想（案）

## 5. 次第

- 1 構想案について
  - （1）1章～3章について
  - （2）4章・5章について
- 2 事務連絡
- 3 事業を通じた感想

## 6. 議題

## ■次第1 構想案について

- ・ 配布資料「資料2 第3回研究会資料」に基づき、エリアブランディング構想（御幸の浜海岸・かまぼこ通り周辺）策定に向け、第2回研究会後から第3回研究会までに行ってきた取組を業務受託者より説明。

### （質疑・意見）

なし

## ■次第1 構想案について

### （1）1章～3章について

配布資料「資料2 構想（案）」に基づき、業務受託者より説明。

### （質疑・意見）

- |                   |  |
|-------------------|--|
| 小田原蒲鉾協同<br>組合（鈴木） | ・ エリア内の人口が3,000人程度とあるが、エリアへの観光の来訪者はどのくらいいるのか。また、産業、なりわいをしている店舗がどのくらいあるのか。  |
| 事務局               | ・ P13に主な施設の来訪者数は載せている。店舗数は数値を持っていない。小田原宿なりわい交流館の来訪者数は、多いときは4万人。今年は改修工事があったので3.2万人/年。   |
| 小田原蒲鉾協同<br>組合（鈴木） | ・ エリアの観光客数で10万人くらいか。   |
| 事務局               | ・ もっと多いかもしれない。御幸の浜の海岸の海水浴の開設期間中37日間で5,000-6,000人だが、それ以外のシーズンでも観光客は来ている。4-5年前までは小田原城周辺がテレビで取り上げられているが、最近のかまぼこ通りも取り上げられているので注目を集めていると思われる。 |
| 小田原蒲鉾協同<br>組合（鈴木） | ・ 目標とする観光客数を設定できるといいと思う。以前は日本全体の観光客が3,000万人だったが、現在6,000万人になっている。どういう目標にしていくかゴールを持っておくといいと思う。   |
| 事務局               | ・ 市の観光戦略ビジョンでは、令和12年（2030年）に1,000万人を目標にしている。   |
| 小田原市観光協<br>会（瀧澤）  | ・ 現在の観光客数は838万人  |
| 小田原ガイド協<br>会（橘川）  | ・ 資料のP13、施設ごとの年間観光客数を見ると小田原城址公園に令和6年は283万人来ている。小田原宿なりわい交流館が3.2万  |

- 人。あまりに少ない。肌感ではこんなものではないと感じる。
- ・ 「海へ続くトンネル」は人気がある。二の丸観光案内所でも、写真を手に、「ここはどこか」と聞かれる。鈴木製館所やかまぼこ通りを訪れる人から多く尋ねられる。小田原城址公園からもう少し回遊している感じはする。
  - ・ 御幸の浜海岸は平時の数は入っていないのでもっと観光客は多いと思われる。
  - ・ 生活のゾーンを維持しながら歴史のゾーンに観光客が来てもらうようにできればと思う。
- 事務局
- 小田原ガイド協会（橘川）

#### （1）4章・5章について

配布資料「資料2 構想（案）」に基づき、業務受託者より説明。

#### （質疑・意見）

- 小田原蒲鉾協同組合（鈴木）
- ・ パースは具体的な計画を表す印象が強い。P29のような示し方だと鈴廣旧本町店で何かすることが決定しているように見える。このような表現ではなく、ポンチ絵1枚にしたほうが良いのではないか。具体的なことを絵に起こすのはよいと思うが、市民が見たときに期待する。構想としては抽象度を高くして早川の構想のようなイラスト絵のようにするとよいのではないか。
- 小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西）
- ・ なりわい交流館のような公共施設と個人の商店は描き方を一緒にしない方がよい。個人店に取り組みを描くと決めつけになってしまう。構想を見た人が勘違いするかもしれない。
- 小田原蒲鉾協同組合（鈴木）
- ・ 実際まだ今後の動きは決まっていないので。現実性と印象を強くしてしまう。
- 事務局
- ・ 個人商店に係る部分は少し表現を抑えるように検討する。
- 小田原蒲鉾協同組合（鈴木）
- ・ パースに取り組みを落とし込む際、点で示すのではなく、全体に関わるように見せるとよいのではないか。
- 事務局
- ・ 承知した。対応を検討したい。
- 小田原蒲鉾協同組合（鈴木）
- ・ このゾーンの話だという説明で載せているのか。そうであれば背景画にしてしまうくらいのほうがよいのでは。「何か新しいお店ができるのか」と期待される半面、現状と変わらない状況続くともったいない。「このエリアのことです」程度にした方がよいのでは。
- 小田原かまぼこ
- ・ P31も、かまぼこ通り西側も観光を推進するよう見える。

通り活性化協議  
会（小西）

小田原蒲鉾協同  
組合（鈴木）

小田原市観光協  
会（瀧澤）

事務局

小田原蒲鉾協同  
組合（鈴木）

小田原市水産海  
浜課（秋山）

小田原蒲鉾協同  
組合（鈴木）

小田原市水産海  
浜課（秋山）

小田原かまぼこ  
通り活性化協議  
会（小西）

小田原蒲鉾協同

- ・ レストランなどもあるので、取り組みは点で示さない方がよい。
- ・ 観光協会で構想案を共有し、意見を集約した。このエリアは個性  
的なお店が多く、住みたい人も多い。住まうように観光するのが  
よいと思う。観光協会は観光消費額も大事にしている。
- ・ P15 に空き家率、P32 に既存店舗への支援とあり、エリア内にゲ  
ストハウスが増えてきているが把握しきれていない状況。現在は  
日帰りの観光客が多い。できれば夕食まで食べて泊まってもら  
う仕掛けをしないといけない。旧宿場町であり、小田原らしい、住  
みながら生活をみてもらうにはよい場所。なりわい交流館がハブ  
になって宿泊施設を案内できるといいと観光協会と話している。
- ・ インバウンドはなかなか難しい。住んでいる人も不安がある。業  
者に入ってもらってやり方やルールを決めて、ゴミを落とさずお  
金を落としてもらうような取組の記載があるといいと思う。市も  
同じようにしていることを示せる。ゲストハウスやホテルみたい  
な受入れがあるとうれしいという意見があった。
- ・ 承知した。事務局で調整する。
- ・ P34 の海について、蒲鉾協同組合で話していて気になっていた  
が、50 年前くらいはリーチが長い砂浜があった。観光客もいて、  
なりわいもあった。砂浜再生プロジェクトは進んでいるのか。
- ・ 課で環境部も交えて話をしている。海岸の管理者は神奈川県にな  
っているため、県とも話をしている。砂浜再生については 2~3  
か月前に話があったがあまり進んでいないかもしれない。
- ・ 早川の河川については市の判断で進められるのか。
- ・ 早川漁港も県の管轄。浜も基本は県の管理になる。
- ・ 本構想としては、現況では描けるが、現実的に実現可能かどうか。  
西部漁港と調整している。みなさんや住民の意見がある項目は入  
れたいと思っている。こういう思いがあるというのは載せようと  
考えている。
- ・ 御幸の浜海岸は、他所にはないので、石のビーチも人気。昔から  
住んでいる人には広い浜に思い入れがある。
- ・ 浜が広がったら、観光客も江の島ではなく御幸の浜海岸に来ると

- 組合（鈴木）
- 小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西）
- 事務局
- 小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西）
- 事務局
- 小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西）
- 小田原蒲鉾協同組合（鈴木）
- 小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西）
- ・ 思う。
  - ・ P26「空き店舗の活用についてマッチングを行う」とあるが、過去にかまぼこ通り活性化協議会で市と協力して取り組んだ中で、難しかったのがマッチング。空き店舗の把握ができていてマッチングが難しい。協議会だけで交渉を試みても信用がないため進めず、市の名前を出すとやっと話を聞いてくれる状況だった。今はどのようなやり方で動いているのか。
  - ・ 恐らく今までとやり方は変わっていないと思う。関係部署に見てもらっている。
  - ・ この辺でやりたいという声は聞けがなかなか空いていても難しい。うまくそれがつながるとよいと思う。かまぼこ通り活性化協議会で活動していると「もっと活動しなさい」とよく言われるが、なかなかできない。働きかけはしてきたが難しい。
  - ・ P23の子どもの学びの場づくりについては、子育てをしていて、遊びに連れていく場所がほしかった。広場がないのでお城で遊んでいた。新しく公園もできなかったし、現在もない。今の子どもたちはなりわい交流館か三の丸ホールで遊んでいる。普段の日常で遊びに行く場所がなかった。学習プログラムも大事だが日常的に寄れるようなところが地域の人にとっては欲しいものだと思う。みんな車で公園に連れて行っている。
  - ・ ハード面についてはすぐに実現することは難しい。子どもの遊び場が足りないという意見は多い。P30に描いているなりわい交流館の駐車場を子どもが遊べる場所に活用できないかということで、子どもが遊んでいる様子を描いた。ハード整備をできれば一番いいが、現実的な表現としている。
  - ・ ここがあるだけでもよいと思う。みんなここはお世話になった。一時はルールが厳しい時期もあったが、今は遊んでいる子供たちもいるので良くなってきたと思う。
  - ・ 児童館はダイナシティの方までいかないとな。
  - ・ なりわい交流館は、常駐しているスタッフがいて、好きに子どもたちが遊べる。なんとなく見守ってもらえるのが親にとっても安心。どこで何をしているか分からないより、「なりわい交流館にいるのね」と安心できる。そういう場所がいくつかあればいいと思う。子供が増えているエリアもある。学童も近くに移ってきたが、遊ぶ場所がない子供たちが増えてしまうと思う。

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 事務局                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エリアからは外れるが、「わってらか」さんにはお話を聞きに行った。親子がたくさん訪れているとのこと。</li> </ul>  |
| 小田原かまぼこ通り活性化協議会（小西） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの居場所がない。予約してまでは親も大変。いつでもちょっと行けるようなところがあれば良いと思う。</li> </ul>   |
| 小田原市観光協会（瀧澤）        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なりわい交流館の管理をしているとき、小学生のお母さんが来て、もし子どもが悪い事をしたら怒ってくださいと言われて。なりわい交流館のスタッフや近所の人が見ているのが安心だと聞いた。最近の子どもたちは、シール交換やパソコンをしたりバドミントンをしたりしている。もう少し、寺子屋みたいにしたいという話も観光協会に出ている。広くできたらいいと。ボール遊びは危ないとも言われてわれているので、もう少しいろいろ使ってもらえると嬉しい。子供たちがなりわい交流館に、ただいまと帰ってくる。良い場所だと思う。</li> </ul> |

## ■次第2 事務連絡

今後のスケジュールについて事務局から説明

（質疑）

なし

## ■次第3 事業を通じての感想

事業を通じての感想を一人一言ずつ発表

- |              |  |
|--------------|--|
| 小田原市観光協会（瀧澤） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究会に加え、住民対象のワークショップにも参加した。普段は住民と話す機会がないため、観光のお客さんだけでなく、住民の意見が直接聞けてよかった。自分は2年前に移住してきたが、このエリアが小田原らしくて好き。来てもらえると良い場所と分かるが、来たことのない人に魅力を伝えるのが難しい。改めて皆さんのお話を聞いて、このエリアは小田原らしいところなので、観光のひとつになると思っている。引き続き、なりわい交流館の管理もしていくのでお願いしたい。</li> </ul> |
|--------------|--|

小田原ガイド協  
会（川瀬）

- ・ 住民の生活と観光が別の問題になっている。
- ・ 生活においては、子どもが遊べる公園がない。板橋のお地藏さんのあたりは、中学生くらいまでの子も声を出して遊んでいる様子を見る。子どもが自分で行けるような遊べる場所が欲しいと思った。特に移住してくる人が増えるなら家族で生活しやすいのが大事だと思う。
- ・ 観光は、海がポイントだと思う。小学生を連れてまち歩きをすると、海に連れていくと帰りたいがらなくて大変なくらいずっといたがる。海に近づくと、「海に行けるの？」と声が出て、あと波が2つきたら帰るよと言わないといけないくらい夢中になる。石の浜は、普通の靴でも砂が入りづらく、そこがよいと聞く。海水もきれい。3月ごろまで色もきれいでおすすめの、すごい観光資源だと思う。ぜひ宿泊してもらいたい。最近個人でまちなかに入り込んでいるインバウンドの観光客を見かける。宿泊客と思われる方が食材をスーパーで買っているのを見かける。青物町商店街を一つの観光地にすれば、海もあるし、宮小路で飲食も楽しめる。
- ・ ガイドをしていると、古い町並みはどこですかとよく聞かれる。新しく再生したところができればよいと思う。

小田原ガイド協  
会（橘川）

- ・ 友達や親戚をかまぼこ通りに連れてきて食事をして、海を見せたら、小田原はこんないいところあるのとみんな言ってくれた。ただ、住んでいる人もいるので観光に前向きになりすぎたらいけないと思う。鎌倉はオーバーツーリズムで困っている。
- ・ 公園の話については、鴨宮の方が公園もあって、楽しそうにしているのを見る。そういうものがこのエリアには欠けている。人が増えているが空き家も一番多いのはなぜか。空き家も子どもも増えている。マンションなどの影響なのか。空き家の問題はまちを劣化させる。そういう問題にも取り組まないといけないと思う。

幸地区住民代表  
（柏木）

- ・ 自分はこの地域に長く住んでいただけだが、長く住み続けられるのはすてきな場所だからだと思う。地域を見直すきっかけができた。研究会ではみなさんの自由な意見が聞けて楽しかった。個別のヒアリングでは、いろいろな方に同席してもらっていろいろな話ができ。今後もまた、子どもたちが少しでもいてよかったと思えるような地域にしていきたい。

小田原蒲鉾協同  
組合（鈴木）

- ・ 今回、構想をまとめていく中でよかったのは、ゾーンを分けたことだと思う。このあといろいろと進めていくためにも、みなさんと目線合わせができたと思う。小田原は産業がたくさんあってい

小田原かまぼこ  
通り活性化協議  
会（小西）

ろいろなプレーヤーがいて、多くの視点がある。改めてこのエリアはこういうエリアだと文字に起こしたことは、ものごとを進めていくにはとても大事だと思っている。

- ・このエリアはいろいろなものがあるが、分野に分けると、6分野くらいでよかったなという印象。もっと広げるといろいろな問題がある。課題はこれだけでいいのだと思えた。子どもは増えているしファミリー世帯もいる、ポテンシャルのあるまちだと改めて思った。
- ・多種多様な職をもっている方で構成された研究会では、テーマごとに気づきがたくさんあった。ひとつのことで人によっては真逆に見えていることもあった。話してみないとわからない。ビーチについても、砂浜も、石もどっちも魅力があって、それを知ることが大事だと思った。このエリアの特性を話して再確認して、こういうのもあると気づけた。湘南や鎌倉を真似するのではなく、ここの良さをきちんと知っておくのはすごく大事だと感じた。
- ・東京に行ったとき、くたくたで駅のホームで座りたくても座れなくて窮屈に感じた。こっちに帰ってきたら店先にぼーっと座っているだけで、ここに来てもらって幸せと言ってもらえる。いつも窮屈な生活をしている人からしたら、何もないけれど、それがすごく贅沢だと感じている感覚は大事にしたほうが良いと思った。
- ・お店を営んできて、宣伝が足りていないと感じる。小田原駅に着いても、浜まで歩いていけるとは誰も教えてくれない、もっと宣伝しなさいと言われたので、誰にでもその話をするようにしたら、テレビの取材も来るきっかけになった。このエリアは注目されているので、勢いに乗っているときに宣伝も効果的に考えていけたらと思う。
- ・何よりも自分たちが生活を楽しんでいることを見せつけられることが、住みたいと思ってもらえることにつながると思う。
- ・観光ばかりに寄ってもよくないし、ゾーニングしてよい町にしていく必要があると思う。改めてこの会を通じてよいエリアで磨きがいもある、魅せ方もやり方もいっぱいあると思えた。目指す指針ができたのは良かった。
- ・本日はありがとうございました。自分は小田原で生まれ育ったが、このエリアに住んでいなくても、海やプール、花火大会もあって、市民にとってはなじみのあるエリア。

政策調整担当部  
長（杉本）

- ・ 子どもの送迎などでこのエリアを訪れ、改めて歩いてみると歴史がある、磨き上げればすごく良い場所になると思った。このエリアを訪れると、目的はないが海に行きたくなる。
- ・ 市長が人間の起源は海なので御幸の浜はすばらしいと話していた。議会にも報告して構想に反対もなく、このまま進めてほしいと意見があった。
- ・ 構想については2か年かぎりですべて完了させるもの。みなさまに協力いただいた。ワークショップやヒアリングで生の声を聴けたことは成果だった。
- ・ 構想はアイデアレベルのものもある。行政、地域、それぞれ主体で進めていくもの、いろいろあるが、この構想が出来たら関係の方にも周知をお願いして、できるところから地域からの発意で進めていくのが大きな流れになると思う。本日不在の方にも議事録を共有し、意見を聞きたい。3月には構想を策定する予定。よりよいものにしていくために忌憚のない意見をいただきたい。ありがとうございました。

以上